

☆お薬ニュース No.3☆

2014.9.19 県立磐井病院薬剤科



お薬手帳を活用しよう！！～お薬手帳って？

「お薬手帳」をみなさんはお持ちですか？

この手帳はみなさんが今使用している薬品の名前、用法・用量を記載しておくためのいわば薬の日記帳です。これを病院や薬局で提示することで、薬剤同士の飲み合わせや、非常時にここから必要な薬剤情報を収集し、医師・薬剤師が使用します。「持ち歩くのが面倒・・・」という方もいるかもしれませんが、いざというとき必ず役に立つ頼れる存在です！！保険証と一緒に携帯し、活用していきましょう。

例として東日本大震災の時に常用薬が必要となった際、このお薬手帳があることで以前服用していた薬剤をスムーズに患者さんへ提供できました。手帳が無かった場合、聞き取り等を行います但同じような外観・形状の薬品が世の中にたくさんあるため時間がかかってしまいました・・・。

薬剤名

用法・用量

かかりつけの病院

薬剤アレルギー歴

副作用歴

薬の飲み合わせ

おくすり手帳



ただの手帳とあなどるなかれ☆この一冊からこんなにも沢山の大切な情報がわかるんです！！

最近のトピックス



現在アフリカ地域で猛威をふるっているエボラ出血熱...

そして最近日本国内では Dengue 熱の感染が拡大しています。

今回はこの二つの疾患に関して Q&A をまとめました。皆さんに正しい知識を持っていただけたらと思います！まずは**エボラ出血熱**から紹介します。



エボラ出血熱って??



エボラウイルス

エボラ出血熱はウイルスが体内に侵入することで発症します。感染してから 2～21 日間は症状が出ない事があります（潜伏期）。症状は頭痛・突然の発熱・倦怠感などが出現し、それに続く形で嘔吐・下痢・出血（吐血や下血）が現れます。出血症状が出ない患者さんもいるため、海外特に西アフリカ地域への渡航後には上記の症状に気を付けてください。現在エボラ出血熱を引き起こすウイルスに対する有効な薬剤は有りませんが、熱や嘔吐に対する治療が行われます。感染者の治療は施設が整った国指定の医療機関で行われます。（岩手県内では盛岡市立病院）ウイルス自体は体液や血液等を介することで人-人、動物-人などへ感染していきます。感染の疑いのある人や動物の体液・血液には直接触らないようにしてください。9月11日現在、日本国内で感染者はいません。

〇 Dengue 熱

Dengue 熱は「Dengue ウイルス」という特殊なウイルスが体内に侵入することで発症します。このウイルスは日本国内では「ヒトスジシマ蚊」によって人から人へと感染するとされています。では、実際に感染してしまったらどういった症状がでるのでしょうか??



～ヒトスジシマ蚊～



Q1：症状と治療法は??

潜伏期間は 2～15 日間。突然の発熱（高熱：38～40℃）や眼痛、顔面潮紅、結膜充血などが出現します。発熱は約 2～7 日間続きます。さらに全身に筋肉痛のような痛み、関節痛、倦怠感が現れ、3～4 日後には胸部などから発疹が出始め、顔面・四肢等に広がります。症状は約 1 週間ほど続きます。現在有効な治療薬は無く、対症療法と言って、発熱等の症状に対する治療となります。



Q2：予防法は何かあるの??

Dengue 熱に特化した予防法はありません。現在、Dengue 熱に対するワクチンや抗ウイルス薬はないため、

- ・蚊に刺されないように気をつける
- ・蚊の生息していそうな場所にはいかない。
- ・虫よけスプレーや蚊取り線香を有効活用する。
- ・蚊が卵を産卵できる場所を作らない。（植木鉢の水受けなどをそのままにしておかない）などの工夫をしましょう。

参照：感染症研究所昆虫医科学部 HP: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-lab/478-ent/3466-ent-photos.html>

東京都感染症情報センター： <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/dengue/>

厚生労働省 HP (<http://www.mhlw.go.jp/>)、大幸薬品 HP (<https://www.seirogan.co.jp/index.html>)

国立感染症研究所 (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) 吉田製薬 HP (<http://www.yoshida-pharm.com/>)